

科 目	表現研究	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・岡 幸二郎	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までを実践的に学びます。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ミュージカル楽曲 のソロパートを譜読みする	ウォーミングアップ	
2.	ミュージカル楽曲 のソロパートを分析し、歌う	発声・呼吸法	
3.	ミュージカル楽曲 のソロパートを歌い込む	発声・呼吸法・譜読み	
4.	ミュージカル楽曲 のソロパートを歌い込む	発声・呼吸法・譜読み	
5.	ミュージカル楽曲 のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6.	ミュージカル楽曲 のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7.	ミュージカル楽曲 のソロパートを発表する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8.	ミュージカル楽曲 のデュエットを譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9.	ミュージカル楽曲 のデュエットを分析し、歌う	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
10.	ミュージカル楽曲 のデュエットを歌い込む	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
11.	ミュージカル楽曲 のデュエットを歌い込む	感情・歌・動きを整理する	
12.	ミュージカル楽曲 にデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情・歌・動きを整理する	
13.	ミュージカル楽曲 のデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情・歌・動きを整理する	
14.	ミュージカル楽曲 のデュエットを発表する	客観的に振り返る	
15.	まとめ・振り返り		
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (30%) 授業内課題 (70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年～2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	表現研究	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	817° 町 ュース	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	アニメの登場人物を演じる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	登場人物にふさわしい声色、表情、表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	人物の感情や状況をどのように捉え表現するかを、授業内発表で測り評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	台本の分析	オーディションの準備	
2 .	オーディション	シーン1の稽古	
3 .	シーン1を演じる	シーン1の稽古	
4 .	シーン1を演じる	シーン1の稽古	
5 .	シーン1を演じる	シーン1の稽古	
6 .	シーン1を演じる	シーン2の稽古	
7 .	シーン2を演じる	シーン2の稽古	
8 .	シーン2を演じる	シーン2の稽古	
9 .	シーン2を演じる	シーン2の稽古	
10 .	シーン2を録音する	シーン3の稽古	
11 .	シーン3を演じる	シーン3の稽古	
12 .	シーン3を演じる	シーン3の稽古	
13 .	シーン3を演じる	シーン3の稽古	
14 .	シーン3を録音する	テストの準備	
15 .	まとめ	テストの準備	
教科書	台本と映像を用意する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (30%) 授業内課題 (30%) 授業内発表 (40%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談 の受付			

科目	表現研究	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	ボビー中西・金 世一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	想像の設定の中で真実を生きる。真の俳優になるためのリアリズム演技を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自由で個性豊かな俳優としての基礎を身につけ、表現者として自らの課題を発見することが出来る。 演劇を通して深い人間理解を持ち、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する 状況に応じたリアルな感情表現が出来る。 相手を受け入れて反応することが出来る。 演出の意図をくみ取り演技をすることが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	PT体操後、身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	興味のある新聞記事を選んで書き 写す。 自己認識と自己意識に関して考え 興味のある新聞記事を選んで書き 写す。 自己認識と自己意識に関して考え	
2.	「ゼロ」訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	興味のある新聞記事を選んで書き 写す。 自己認識と自己意識に関して考え	
3.	パタン歩きの訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	興味のある新聞記事を選んで書き 写す。 自己認識と自己意識に関して考え	
4.	発声訓練を行う。(金 世一)	興味のある新聞記事を選んで書き 写す。 俳優にとっていい声とはどういう	
5.	読み歩き訓練を行う。(金 世一)	興味のある新聞記事を選んで書き 写す。 俳優にとっていい声とはどういう	
6.	トラスト練習(目隠し練習・観察・信頼)(ボビー中西)	ウォーミングアップを行う	
7.	センスリーワーク(コーヒーカップ練習・暑さ、寒さの練習法)(ボビー中西)	リラクゼーションを行う	
8.	アニマルワーク(動物の観察・動物になってみる)(ボビー中西)	動物を観察し絵にする	
9.	レペテション(相手を見る)(ボビー中西)	怖い領域に飛び込むとは何か?を ノートする	
10.	レペテション(反応する)(ボビー中西)	自己開示を理解しノートする	
11.	レペテション(行動する)(ボビー中西)	自分の中の嘘を発見し捨てていく	
12.	レペテション(相手とつながる)(ボビー中西)	相手に委ねて衝動に身を任せる	
13.	感情準備(切迫した状況を演じる)(ボビー中西)	切迫した状況を思い出し感じる	
14.	感情準備(相手に委ね、自己を発見する)(ボビー中西)	見られていない状況で感じるとは 何かをノートする。	
15.	まとめ		
教科書	プリント配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	随時随時		

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、動くことへの興味と実践を追求。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	音感の向上や身体の可能性を広げる。		
学習成果の 評価基準	授業中の態度と課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-1	1年次レッスンの復習	
2 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-2	前回の復習	
3 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-3	前回の復習	
4 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-4	前回の復習	
5 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-5	前回の復習	
6 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-6	前回の復習	
7 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-7	前回の復習	
8 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-8	前回の復習	
9 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-9	前回の復習	
10 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-10	前回の復習	
11 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-11	前回の復習	
12 .	中盤のまとめ (各パ・アダージョ・アレグロ・グランパ)	アダージョ・グランパの予習	
13 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-1	前回の復習	
14 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-2	前回の復習	
15 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ-3	前回の復習	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い、怪我に注意すること。		
質問・相談 の 受 付			

科目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、動くことへの興味と実践を追求。		
到達目標	音感の向上や身体の可能性を広げる。		
学習成果の 評価基準	授業中の態度と課題の成果をもって評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 4	アンシェヌマン	
17.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 5	アンシェヌマン	
18.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 6	授業の振り返り	
19.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 7	授業の振り返り	
20.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 8	授業の振り返り	
21.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 9	授業の振り返り	
22.	パーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユ 10	授業の振り返り	
23.	後期のまとめ (トウールも紹介)	授業の振り返り	
24.			
25.			
26.			
27.			
28.			
29.			
30.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い、怪我に注意すること。		
質問・相談 の受付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	舞台への実践に向けて、アカデミックなポジションをより正確に学び、その応用を多方面に追及。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	あくまで身体を動かすことですから、自分に継続を課してレッスンをすることを望みます。		
学習成果の 評価基準	授業中の態度と課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	パーレッスン オウミリユ 1	1年次のレッスンの復習	
2 .	パーレッスン オウミリユ 2	前回の復習	
3 .	パーレッスン オウミリユ 3	前回の復習	
4 .	パーレッスン オウミリユ 4	前回の復習	
5 .	パーレッスン オウミリユ 5	前回の復習	
6 .	パーレッスン オウミリユ 6	前回の復習	
7 .	パーレッスン オウミリユ 7	前回の復習	
8 .	パーレッスン オウミリユ 8	前回の復習	
9 .	パーレッスン オウミリユ 9	前回の復習	
10 .	パーレッスン オウミリユ 10	前回の復習	
11 .	パーレッスン オウミリユ 11	前回の復習	
12 .	前期のまとめ (アダジオ・アレグロ・ワルツ)	アダジオ・アレグロ・ワルツの予習	
13 .	パーレッスン オウミリユ 1	前回の復習	
14 .	パーレッスン オウミリユ 2	前回の復習	
15 .	パーレッスン オウミリユ 3	前回の復習	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い、怪我に注意すること。		
質問・相談 の受付			

科目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	舞台への実践に向けて、アカデミックなポジションをより正確に学び、その応用を多方面に追及。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	あくまで身体を動かすことですから、自分に継続を課してレッスンをすることを望みます。		
学習成果の 評価基準	授業中の態度と課題の成果をもって評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	パーレッスン オウミリユ 4	授業の振り返り	
17.	パーレッスン オウミリユ 5	授業の振り返り	
18.	パーレッスン オウミリユ 6	授業の振り返り	
19.	パーレッスン オウミリユ 7	授業の振り返り	
20.	パーレッスン オウミリユ 8	授業の振り返り	
21.	パーレッスン オウミリユ 9	授業の振り返り	
22.	パーレッスン オウミリユ 10	アンシェヌマン	
23.	後期のまとめ (グランワルツ・コーダ)	アンシェヌマン	
24.			
25.			
26.			
27.			
28.			
29.			
30.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することは望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い、怪我に注意すること。		
質問・相談 の受付			

科 目	身体表現研究 C -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	福田眞弓	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	ミュージカルやショーなどに使われるシアターダンスに触れる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの内容や歴史を理解し、表現することができる。		
学習成果の 評価基準	毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
2 .	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
3 .	コンビネーション 音楽と身体を使って踊る	振付の追求	
4 .	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
5 .	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
6 .	コンビネーション 音楽と身体を使って踊る	振付の追求	
7 .	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
8 .	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
9 .	コンビネーション 音楽と身体を使って踊る	振付の追求	
10 .	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
11 .	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
12 .	コンビネーション 音楽と身体を使って踊る	振付の追求	
13 .	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
14 .	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
15 .	コンビネーション 音楽と身体を使って踊る	振付の追求	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 小テスト (10%) 授業内課題 (20%) 授業内発表 (20%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装で受講のこと。水分とタオルを持参のこと。髪の毛の長い人は結んでください。		
質問・相談 の 受 付			

科目	身体表現研究C -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	福田眞弓	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	基礎の見直し。いろいろなジャンルの踊り・曲に挑戦していく。		
到達目標	身体を使って踊ることができる。音を細かくとって動くことができる。		
学習成果の 評価基準	毎授業の復習を含めた授業中の成果及び最後の授業で行うテストの成果で評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
17.	コンビネーション 内容を理解しながら振付を覚える	振付の復習・作品について調べる	
18.	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
19.	コンビネーション 踊りの内容、表現を深める	ポイントをしっかりと覚えて表現する練習をする	
20.	コンビネーション テストに向けての対策	2年間を通して習った基礎や表現を応用できる練習をする	
21.	コンビネーション テストに向けての対策	2年間を通して習った基礎や表現を応用できる練習をする	
22.	コンビネーション テストに向けてのリハーサル	衣装や、自分が必要な準備を十分に にする	
23.	コンビネーション テスト	授業の振り返り	
24.			
25.			
26.			
27.			
28.			
29.			
30.			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 小テスト (10%) 授業内課題 (20%) 定期試験 (10%) 授業内発表 (10%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ・身体のラインがわかる服装で受講のこと。水分とタオルを持参のこと。髪の毛の長い人は結んでください。		
質問・相談等 の受付			

科 目	身体表現研究 E -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	舞台・映像に必要なアクションと殺陣の基礎を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	身体を中心軸を捉え、ケガのないしなやかで強い肉体を手に入れる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題により評価する。 速やかな重心移動が出来る。 前回り受け身が出来る。 剣とボディアクションの型が出来る。 芝居の中で安全に立ち回りが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	肉体訓練 (インナーマッスル)	ウォーミングアップ	
2 .	肉体訓練 (体さばき)	ウォーミングアップ	
3 .	肉体訓練 (摺り足)	ウォーミングアップ	
4 .	肉体訓練 (空手・型)	ウォーミングアップ	
5 .	殺陣 (素振り)	ウォーミングアップ	
6 .	殺陣)(型)	素振り	
7 .	殺陣 (手合わせ)	素振り	
8 .	殺陣 (手合わせ)	素振り	
9 .	殺陣 (抜刀・納刀)	素振り	
10 .	殺陣 (初級手つけ)	振り確認	
11 .	殺陣 (初級手つけ)	振り確認	
12 .	殺陣 (中級手つけ)	振り確認	
13 .	殺陣 (中級手つけ)	振り確認	
14 .	ボディアクション (ジャブ・ストレート・フック)	ウォーミングアップ・体幹トレーニング	
15 .	ボディアクション (前蹴り・側刀・下段回し蹴り・上段回し蹴り・後ろ回し蹴り)	ウォーミングアップ・体幹トレーニング	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (30%) 授業内課題 (70%) 授業内課題発表時にコメントし、フィードバックします。		
特記すべき 事項	2005年～2015年殺陣師渥美博氏に師事。数々の舞台に出演、アクションコーディネーターとして振付を担当。 動ける服装で受講のこと。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科 目	身体表現研究 E -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	舞台・映像に必要なアクションと殺陣の基礎を学ぶ。		
到達目標	身体を中心軸を捉え、ケガのないしなやかで強い肉体を手に入れる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題により評価する。 速やかな重心移動が出来る。 前回り受け身が出来る。 剣とボディアクションの型が出来る。 芝居の中で立ち回りが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	ボディアクション (組み手)	ウォーミングアップ・体幹トレーニング	
17 .	ボディアクション (組み手)	ウォーミングアップ・体幹トレーニング	
18 .	マット (基礎)	ウォーミングアップ・体幹トレーニング	
19 .	マット (前転・側転・バク転)	ウォーミングアップ・体幹トレーニング	
20 .	シーン・ワーク (総合アクション)	振り確認	
21 .	シーン・ワーク (総合アクション)	振り確認	
22 .	シーン・ワーク (総合アクション)	振り確認	
23 .	シーンワーク (まとめ/作品鑑賞)	振り返り	
24 .			
25 .			
26 .			
27 .			
28 .			
29 .			
30 .			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (30%) 授業内課題 (70%) 授業内課題発表時にコメントし、フィードバックします。		
特記すべき 事項	2005年～2015年殺陣師渥美博氏に師事。数々の舞台に出演、アクションコーディネーターとして振付を担当。 動ける服装で受講のこと。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声表現を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現のみならず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 評価は「ことば」「芝居」をみる。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	授業概要の確認		
2 .	外郎売の復習	外郎売の復習	
3 .	MC、会話の広げ方	原稿を読んでおく	
4 .	MC、会話の広げ方	原稿を読んでおく	
5 .	ナレーション実践	原稿を読んでおく	
6 .	ナレーション実践	原稿を読んでおく	
7 .	ラジオ番組作成	企画を考える	
8 .	ラジオ番組作成	企画を考える	
9 .	ラジオ番組作成	企画を考える	
10 .	初見力を鍛える	発声・ストレッチ等	
11 .	初見力を鍛える	発声・ストレッチ等	
12 .	物語を作る	発声・ストレッチ等	
13 .	物語を作る	発声・ストレッチ等	
14 .	ビブリオバトル	プレゼン本を選ぶ	
15 .	ビブリオバトル	プレゼン本を選ぶ	
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる。		
到達目標	音声表現を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現のみならず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 評価は「ことば」「芝居」をみる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	ビプリオバトル	プレゼン本を選ぶ	
17.	ラジオ番組作成	企画・制作の段取り	
18.	ラジオ番組作成	企画・制作の段取り	
19.	ラジオ番組作成	企画・制作の段取り	
20.	ラジオ番組作成	企画・制作の段取り	
21.	ラジオ番組作成	企画・制作の段取り	
22.	ラジオ番組作成	企画・制作の段取り	
23.	まとめ	振り返り	
24.			
25.			
26.			
27.			
28.			
29.			
30.			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立。 スタジオ内でのマナーや用語を知り、マイクワークが習得できる。		
学習成果の 評価基準	声優の役割を理解し実技実践していくなかで、状況に合わせた芝居ができているかを作品発表にて評価する。 S：キャラクターの心情を理解し状況に応じた感情表現がとてよくできている・マイクワークが滑らかにできる A：キャラクターの心情を理解し感情表現できている・マイクワークができる B：キャラクターの心情を理解しようとしている・マイクワークを円滑に行う努力がみられる		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要の確認 目標・進路を設定する		
2.	1年次の復習 復習と自己の課題を設定する	配布プリントを読んでおく	
3.	言葉へのアプローチ 言葉への意識を取り戻す	配布プリントを読んでおく	
4.	セリフ(1) 声のみの表現練習(第一段階)	台本を読んでおく	
5.	セリフ(2) 声のみの表現練習(第二段階)	台本を読んでおく	
6.	アニメアフレコ(1) クオリティーの高い言葉(第一段階)	台本を読んでおく	
7.	アニメアフレコ(2) クオリティーの高い言葉(第二段階)	台本を読んでおく	
8.	アニメアフレコ(3) 緻密なキャラクター作り(第一段階)	台本を読んでおく	
9.	アニメアフレコ(4) 緻密なキャラクター作り(第二段階)	台本を読んでおく	
10.	アニメアフレコ(5) 作品発表1 緻密なキャラクター作り(第三段階)	台本を読んでおく	
11.	アニメアフレコ(6) 的確に映像に合わせる(第一段階)	台本を読んでおく	
12.	アニメアフレコ(7) 的確に映像に合わせる(第二段階)	台本を読んでおく	
13.	アニメアフレコ(8) 生きた芝居(第一段階)	台本を読んでおく	
14.	アニメアフレコ(9) 生きた芝居(第二段階)	台本を読んでおく	
15.	アニメアフレコ(10) 作品発表2 生きた芝居(第三段階)	台本を読んでおく	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (40%) その他【演技への積極性】 (20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストを読み込み、積極的に行動、努力すること。		
質問・相談等 の受付			

科目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ スタジオ内でのマイクワークを学ぶ		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立 スタジオ内でのマナーや用語を知り、マイクワークが習得できる		
学習成果の 評価基準	声優の役割を理解し実技実践していくなかで、状況に合わせた芝居ができているかを作品発表にて評価する S：キャラクターの心情を理解し状況に応じた感情表現がとてもよくできている・マイクワークが滑らかにできる A：キャラクターの心情を理解し感情表現できている・マイクワークができる B：キャラクターの心情を理解しようと努めている・マイクワークを円滑に行う努力がみられる		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
16.	アテレコについて学ぶ アニメと外画の違いを理解する	配布プリントを読んでおく	
17.	外画アテレコ（1） 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ	台本を読み映像を見ておく	
18.	外画アテレコ（2） 作品発表3 台本と映像の関係を理解する	台本を読み映像を見ておく	
19.	"外画アテレコ（3） 映像に台詞を合わせる	台本を読み映像を見ておく	
20.	外画アテレコ（4） 映像に合わせ収録する	台本を読み映像を見ておく	
21.	外画アテレコ（5） クオリティーの高い台詞	台本を読み映像を見ておく	
22.	外画アテレコ（6） 緻密なキャラクター作り、芝居	台本を読み映像を見ておく	
23.	外画アテレコ（7） 作品発表4	台本を読み映像を見ておく	
24.			
25.			
26.			
27.			
28.			
29.			
30.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度（40%） 授業内作品発表（40%） その他【演技への積極性】（20%）		
特記すべき 事項	台本、テキストを読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として26年の実務経験を有しています		
質問・相談等 の受付			

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈津美	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から戯曲と楽曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊り、自由に演じる事ができる。		
学習成果の 評価基準	授業での集中度や積極的態を『受講態度』とする。 楽曲の中で自己表現が出来ているかを授業内発表で評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	自分の声質と課題を知る。	呼吸の仕組みを学ぶ。	
2 .	呼吸法と発声法をを練習する。	呼吸法と発声法を稽古する。	
3 .	楽曲1を譜読みする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
4 .	楽曲1を歌稽古する。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
5 .	楽曲1を振り入れする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
6 .	楽曲1を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
7 .	楽曲1を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
8 .	楽曲2を譜読みする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
9 .	楽曲2を歌稽古する。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
10 .	楽曲2を振り入れする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
11 .	楽曲2を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
12 .	楽曲2を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を拭き集する。	
13 .	楽曲3を譜読みする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
14 .	楽曲3を歌稽古する。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
15 .	楽曲3を振り入れする。		
教科書	ミュージカル楽曲の楽譜。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	受講態度50% 授業内課題達成度50%		
特記すべき 事項	1987年～2017年まで東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出する。		
質問・相談 の受付	常時受け付ける。		

科目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	2年通年 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈津美	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から戯曲と楽曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。		
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊り、自由に演じる事ができる。		
学習成果の評価基準	授業での集中度や積極的態度を『受講態度』とする。 また、楽曲が表現が出来ているかを授業内発表で評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	楽曲3を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
17.	楽曲3を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
18.	楽曲4を譜読みする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
19.	楽曲4を歌稽古する。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
20.	楽曲4を振り入れする。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
21.	楽曲4を演じる。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
22.	楽曲4を発表する。	呼吸法と発声法を稽古する。 楽曲を復習する。	
23.	まとめ。	呼吸法と発声法を稽古する。	
24.			
25.			
26.			
27.			
28.			
29.			
30.			
教科書	ミュージカル楽曲の楽譜。		
参考書	なし。		
学習成果の評価方法	受講態度50% 授業内課題達成度50%		
特記すべき事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出する。		
質問・相談等の受付	常時受け付ける。		

科 目	舞台技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基本を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	舞台芸術を創作する上での、劇場スタッフに必要な知識と技術を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	舞台監督の仕事の復習 (1年生の復習)	1年生の振り返り	
2 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	綱元の操作確認	
3 .	舞台演目について学ぶ (さまざまな演目)	舞台演目の理解	
4 .	舞台美術について学ぶ (さまざまな演目)	舞台美術の理解	
5 .	舞台備品の仕込み方 (舞台幕 黒紗幕)	劇場備品の把握	
6 .	舞台備品の仕込み方 (特殊効果 雪布)	劇場備品の把握	
7 .	舞台監督の仕事 (舞台演出家・美術家)	各スタッフとの連携	
8 .	舞台監督の仕事 (舞台大道具の製作)	各スタッフとの連携	
9 .	舞台監督の仕事 (舞台スケジュール等)	仕事の理解	
10 .	舞台監督の仕事 (舞台演目 演劇)	仕事の理解	
11 .	舞台監督の仕事 (舞台ミュージカル)	仕事の理解	
12 .	舞台監督の仕事 (舞台ミュージカル)	仕事の理解	
13 .	舞台監督の仕事 (海外の舞台演目)	仕事の理解	
14 .	舞台監督の仕事 (海外の舞台演目)	仕事の理解	
15 .	まとめ (前期の復習・振り返りと点検)	前期の振り返り	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	前期で学んだことを基に、舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基礎を学ぶ。		
到達目標	舞台芸術創造の統括をする舞台監督の仕事を学ぶことにより、創造に必要な知識と技術を獲得できる。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	前期の復習 (前期で学んだ事の再確認)	前期の振り返り	
2.	舞台機構の操作の復習 (舞台綱元の確認)	綱元の操作確認	
3.	舞台監督の仕事 (劇場との打合せ内容)	ホールとの打合せ	
4.	舞台監督の仕事 (舞台の搬入・搬出等)	仕事の理解	
5.	舞台監督の仕事 (搬入前の事前準備)	仕事の理解	
6.	舞台監督の仕事 (仕込みの進め方)	仕事の理解	
7.	舞台監督の仕事 (仕込みの進め方)	仕事の理解	
8.	舞台監督の仕事 (出演者への舞台説明)	出演者との連携	
9.	舞台監督の仕事 (舞台転換時の注意点)	暗転の時の安全確認	
10.	舞台監督の仕事 (場当たり・抜き稽古)	仕事の理解	
11.	舞台監督の仕事 (通し稽古の進め方)	仕事の理解	
12.	舞台監督の仕事 (ゲネプロの進め方)	仕事の理解	
13.	舞台監督の仕事 (本番の進行の仕方)	仕事の理解	
14.	舞台監督の仕事 (本番の進行の仕方)	仕事の理解	
15.	まとめ (後期の復習・振り返りと点検)	前期の振り返り	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度20%、授業内課題30%、レポート50%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科 目	音響技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音響のデジタル化に伴いデジタルミキサーやデジタル機器を使用し学校での公演、その他での本番の使用を目指す。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	学校での公演、その他での本番の使用を目指す。		
学習成果の 評価基準	到達度確認テストを実施し評価する		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	アナログミキサーについて	アナログミキサー使用	
2 .	デジタルミキサーについて	"劇場ミキサー Si Compact"	
3 .	デジタルミキサーについて	"劇場ミキサー Si Compact"	
4 .	デジタルミキサーについて	"劇場ミキサー Si Compact"	
5 .	音源再生について	C D、M Dデッキ	
6 .	パソコンからの音出し	Qlab	
7 .	パソコンからの音出し	Qlab	
8 .	パソコンからの音出し	Qlab	
9 .	パソコンからの音出し	Qlab	
10 .	パソコンを使用しての録音方法について	Logic	
11 .	パソコンを使用しての録音方法について	Logic	
12 .	パソコンを使用しての録音方法について	Logic	
13 .	レコーディング	グループによるレコーディング、 機材	
14 .	レコーディング	楽器や声での録音	
15 .	まとめ	パソコン作業	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【 到達度テスト 】 (30%)		
特記すべき 事項	この科目の単位が取得できなければ、後期「音響技術」は履修できない 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	音響技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミキサーの使い方、音響仕込み図の見方を理解し実践に備える。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	卒業公演にてのオペレート		
学習成果の 評価基準	到達度確認テストを実施し評価する		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	波形編集	ロジックソフト	
2 .	波形編集	ロジックソフト	
3 .	P A 実技	グループごとに機材準備	
4 .	P A 実技	グループごとに音出し	
5 .	P A 実技	グループごとに音出し	
6 .	デジタルミキサーのバッチ方法	デジタルミキサー	
7 .	デジタルミキサーのシーンの活用	デジタルミキサー	
8 .	内部エフェクターの使用法	デジタルミキサー	
9 .	E Q での調整方法	デジタルミキサー	
10 .	デジタルミキサーのまとめ	デジタルミキサー	
11 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	劇場にての作業	
12 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	劇場にての作業	
13 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	劇場にての作業	
14 .	仕込み図を見て実際に配線をしての実技	楽器・記号等	
15 .	まとめ	スピーカー等の配置	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【 到達度テスト 】 (30%)		
特記すべき 事項	前期「音響技術」履修者のみ受講可 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	照明技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	赤司晴彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台照明の一般的用語を理解し、照明の仕込み方を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	1年次に学んだ照明基礎を基に照明用語を理解し、照明プランにそって仕込が出来る技術を身に付ける		
学習成果の 評価基準	積極性と理解度を受講態度とし、授業内課題の成果と共に評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	舞台照明草莽品とメンテナンスの実践	消耗品を知る	
2 .	スポット構造について～仮シュート～介護棒シュート実践	前回の復習	
3 .	スポット構造について～仮シュート～介護棒シュート実践	前回の復習	
4 .	DMC信号とコンソール	不可制御操作	
5 .	DMC信号とコンソール	不可制御操作	
6 .	舞台における照明の作業	基礎作業の振り返り	
7 .	戯曲照明について	作品の分析	
8 .	戯曲照明について	作品の分析	
9 .	戯曲照明の確認	作品の分析	
10 .	コンソール制御実践	操作復習	
11 .	コンソール制御実践	操作復習	
12 .	7月公演 仕込み	仕込み図の確認	
13 .	7月公演 仕込み	仕込み図の確認	
14 .	7月公演 仕込み	仕込み図の確認	
15 .	まとめ	振り返りと点検	
教科書	プリント配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (20%) その他【 レポート 】 (30%)		
特記すべき 事項	作業できる服装、手袋必携 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科目	照明技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	赤司晴彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台照明の持つ役割を理解して、作業に必要な技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	前期に学んだ照明の基礎知識を基に、より深く照明について学び、必要な技術を獲得する。		
学習成果の 評価基準	積極性と理解度を受講態度とし、授業内課題の成果と共に評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	前期レポートの確認	前期レポートの振り返り	
2.	DMX信号とコンソール	信号の理解	
3.	照明実践 1 ~ 役割分担	前回の復習	
4.	照明実践 2 ~ プラン	照明プランの理解	
5.	照明実践 3 ~ 事前準備	器材の事前準備	
6.	照明実践 4 ~ 吊りこみ	プランの理解	
7.	照明実践 5 ~ パッチング	前回の復習	
8.	照明実践 6 ~ シュート(フォーカス)	介護棒の扱い	
9.	照明実践 7 ~ シュート(フォーカス)	介護棒の扱い	
10.	照明実践 8 ~ 明り作り	演出プランの確認	
11.	照明実践 9 ~ リハーサル	演出プランの確認	
12.	照明実践 10 ~ ゲネプロ・本番	演出プランの確認	
13.	卒業公演 仕込み	仕込み図の確認	
14.	卒業公演 仕込み	仕込み図の確認	
15.	まとめ	振り返りと点検	
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業できる服装、手袋必携 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台機構演習	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台機構講習に向けての知識、技術の習得 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	舞台機構演習3級に向けての実技 筆記の習得を目的とする。		
学習成果の 評価基準	到達度確認テストを実施し評価する		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その1	過去問題の学習	
2.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その2	過去問題の学習	
3.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その3	過去問題の学習	
4.	舞台機構演習3級の過去の筆記問題集の学習その4	過去問題の学習	
5.	楽器の音について1	音の聞き分け	
6.	楽器の音について2	音の聞き分け	
7.	楽器の音について3	音の聞き分け	
8.	音響テクニカルについての実技1	音響操作	
9.	音響テクニカルについての実技2	音響操作	
10.	音響テクニカルについての実技3	音響操作	
11.	音響テクニカルについての実技4	音響操作	
12.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技1	音響調整	
13.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技2	音響調整	
14.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技3	音響調整	
15.	舞台機構演習3級に向けての音響調整実技4	音響調整	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(20%) 小テスト(50%) 授業内課題(30%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科目	シアターコミュニケーション論	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開します。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション力を習得できる。また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」において評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	予習: シラバスを見ておく 復習: ルーティーンワークを理解する。	
2.	ワーク「モーニングページ」と心理的効果	予習: 習慣化できる工夫をおこなう。 復習: セルフケアの面を考える。	
3.	コミュニケーション力の段階的発達1 コミュニケーションレベル	予習: コミュニケーションの意味について調べておく。 復習: レベル別に整理する。	
4.	コミュニケーション力の段階的発達2 DVD視聴	予習: 人間関係の特徴を捉える。 復習: やってはいけない事を把握する。	
5.	演劇ワーク「教育格言」から生きる言葉を獲得する	予習: 好きな格言を選んでおく。 復習: 選んだ格言シートの意味を確認する。	
6.	演劇ワーク「クルーザー物語」から多様な解釈を受容する	予習: 配布資料を読んでおく。 復習: 他の解釈も当てはめる。	
7.	演劇ワーク「文学賞審査会」から他者の価値観に触れる	予習: 配布資料を読んでおく。 復習: 新たな発言欲求を大事にする。	
8.	グループワークトレーニングにおける考察「謎の宝島」	予習: 配布資料を読んでおく。 復習: 協働体験をふりかえる。	
9.	演劇における自己肯定感と自尊感情について	予習: 自信を持てる領域を確かめる。 復習: 自己肯定感を理解する。	
10.	KJ法を用いた演劇力の考察と社会適用その1	予習: 配布資料を読んでおく。	
11.	KJ法を用いた演劇力の考察と社会適用その2	復習: グループで得た結論をまとめる。	
12.	「おおたにカフェ」実践その1	予習: 役割のイメージをつくる。	
13.	「おおたにカフェ」実践その2	復習: イベントふりかえり	
14.	「笑いの大学」から悲喜劇の転換を考える	予習: 配布資料を読んでおく。 復習: 笑いの視点を確かめる。	
15.	知識と学習のまとめ	今までの学びを振り返る	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科 目	シアターコミュニケーション論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開します。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション力を習得できる。 また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。 「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」において評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について	予習：シラバスを見ておく 復習：ルーティンワークを理解する。	
2 .	スピーチにおける「コンテンツとデリバリー」を捉える ノンバーバルコミュニケーションの活用	予習：原稿を準備する。 復習：ノンバーバルを理解する。	
3 .	声のベクトルと送受信を体験的に理解する	予習：声かけの言葉を考える。 復習：積極的に応用してみる。	
4 .	声と表情の関係性について考察する	予習：自分の表情を確認する。 復習：普段の生活に適応させる。	
5 .	演劇ワーク「モノがたり」物質の生命ストーリーを味わう	予習：身近な存在の物に注目。 復習：ドラマの本質は何かを問う。	
6 .	演劇ワーク「主人と召使い」における人物観察とステイタス	予習：配布資料を読んでおく。 復習：人物の特徴を確かに捉える。	
7 .	「サマータイムマシーンプルース」から過去・現在・未来を捉える	予習：配布資料を読んでおく 復習：時間の概念を想起する。	
8 .	「おおたにカフェ」実践その3	予習：イメージをつくる。	
9 .	「おおたにカフェ」実践その4	復習：イベントふりがえり。	
10 .	意志力について考察その1「やる力・やらない力・望む力」	予習：自己の意志力を考える。 復習：分類をおこない役立てる。	
11 .	意志力について考察その2「モラルライセンシング他」	予習：意志力の特性を理解する。 復習：日常的な場で試してみる。	
12 .	子どもの発達段階における演劇について(ゲスト講師)	予習：配布資料を読んでおく。 復習：表現の特徴を捉える。	
13 .	仏教的視座に基づく表現性について(ゲスト講師)	予習：配布資料を読んでおく。 復習：表現の特徴を捉える。	
14 .	心の健康と心理ケアについて(ゲスト講師)	予習：配布資料を読んでおく。 復習：表現の特徴を捉える。	
15 .	知識と学習のまとめ	今までの学びを振り返る	
教科書			
参考書	ケリー・マクゴニカル著「スタンフォードの自分を変える教室」(だいわ文庫)		
学習成果の評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。 予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	表現技法 A -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的とします。 俳優の道へ進むために何が必要かを考え、稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学習成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	予習:卒業後の進路を考えておく 復習:一年間の計画を立てる。	
2.	自己PRの検討と目標設定	予習:自己PRの内容を考える。 復習:変更箇所を修正する。	
3.	身体トレーニングと発声練習	予習:健康管理の著書を読む。 復習:ルーティーンを決める。	
4.	緊張と緩和のコントロール	予習:丹田について理解する。 復習:自主トレーニングをする。	
5.	演劇ワーク「ストーリーづくり」演技編	予習:ストーリーの意味を知る。 復習:自主的に試みる。	
6.	演劇ワーク「演技連鎖」場面描写編	予習:ウォーミングアップの準備 復習:苦手な動きの確認をする。	
7.	エチュード「状況・出来事・結果」展開編	予習:事前に作らずリラックスする。 復習:課題の原因を明確にする。	
8.	ドラマ解説その1「葛藤と対立の正体」揺さぶり編	予習:配布テキストを読む。 復習:日常の中で観察する。	
9.	ドラマ解説その2「影響を受ける受けない」相互関係編	予習:三原則を守る。 復習:反芻し、課題を見つける。	
10.	ドラマ解説その3「フィクションのリアル」突き抜け編	予習:フィクションの意味を知る。 復習:舞台や映画を参照する。	
11.	エチュード「状況変化」迅速対応編	予習:予想外の事を楽しむ。 復習:聴く力の重要性を知る。	
12.	感情表現「愉快・喜び」パーティー場面	予習:気分の変化を記録する。 復習:テンションレベルの確認。	
13.	感情表現「怒り・悲しみ」闘争場面	予習:自主的に発声練習する。 復習:遠い感情について詳しく探る。	
14.	感情表現「愛しさ・尊さ」カタルシス場面	予習:カタルシスの意味に触れる。 復習:心の状態の点検をする。	
15.	知識と学習のまとめ/小発表	振り返り	
教科書	台本・台詞原稿を配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。 予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科 目	表現技法 A -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的とします。 俳優の道を進むために何が必要かを考え稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学習成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション/ 自己PRの点検と目標の見直し設定をおこなう	予習：卒業後の進路について進捗をまとめる。 復習：半年間の計画を見直す。	
2 .	身体トレーニングと発声練習	予習：必要なレッスンの把握。 復習：ルーティーン化する。	
3 .	マイム「合格発表」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
4 .	マイム「再会」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
5 .	マイム「勘違い」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
6 .	シーンスタディー1「ふたりの場面」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
7 .	シーンスタディー2「3人の場面」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
8 .	シーンスタディー3「静かな場面」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
9 .	シーンスタディー4「激しい場面」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
10 .	シーンスタディー5「感動的な場面」	予習：参考資料に目を通す。 復習：自己チェックをする。	
11 .	短編戯曲を読む、読み合わせする	予習：台本をつくる。 復習：セリフを覚える。	
12 .	芝居をつくる、話し合う	予習：やれる事は準備する。 復習：ひとつアイデアを足す。	
13 .	衣装・小道具を準備し、リハーサルをおこなう	予習：衣装・小道具を手配する。 復習：本番に向けて準備する。	
14 .	小劇場で上演する	予習：セリフと動きの確認をする。 復習：映像を確認する。	
15 .	知識と学習のまとめ/輪組み	振り返り	
教科書	台本・原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。 予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	表現技法 B -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路（声優）に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 評価は「ことば」「芝居」をみる。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自己PR作成	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究	
2.	自己PR作成	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究	
3.	自己PR作成	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究	
4.	自己PR作成	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究	
5.	模擬面接	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究	
6.	模擬面接	卒業後の進路を考慮しておく 事務所・養成所研究	
7.	ナレーション課題	原稿を読んでおく	
8.	ナレーション課題	原稿を読んでおく	
9.	ナレーション課題	原稿を読んでおく	
10.	ナレーション課題	原稿を読んでおく	
11.	台詞課題	プランを考慮しておく	
12.	台詞課題	プランを考慮しておく	
13.	台詞課題	プランを考慮しておく	
14.	台詞課題	プランを考慮しておく	
15.	まとめ	振り返り	
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演、各授業において予習30分・復習30分を必要とする		
質問・相談等 の受付			

科目	表現技法 B -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路（声優）に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 評価は「ことば」「芝居」をみる。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
2.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
3.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
4.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
5.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
6.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
7.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
8.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践	
9.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる	
10.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる	
11.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる	
12.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる	
13.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる	
14.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる	
15.	まとめ	振り返り	
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 40%、授業内成果発表 60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演、各授業において予習30分・復習30分を必要とする		
質問・相談等 の受付			

科 目	表現技法 C -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品をを通して戯曲と楽曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。		
到達目標	自らの身体の特性を知り、その個性を生かしながらミュージカル歌曲を歌い、踊り、自由に演じることが出来る。		
学習成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う 音楽のイメージを自由に表現出来る 音楽を感じ肉体表現在出来る 感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自分の声質を知る。	発声練習。	
2.	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸トレーニングと発声練習。	
3.	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を覚える。	
4.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その1。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。	
5.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その2。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。	
6.	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その3。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。	
7.	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
8.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その1。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
9.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その2。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
10.	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その3。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
11.	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
12.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その1。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
13.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その2。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
14.	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その3。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
15.	まとめ。	呼吸トレーニングと発声練習。	
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	授業内発表70% 受講態度30%		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談 の受付	授業中、また常時受け付ける。		

科 目	表現技法 C -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から楽曲と戯曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。		
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊り、自由に演じる事が出来る。		
学習成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う 音楽のイメージを自由に表現出来る 音楽を感じ肉体的表現が出来る 感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	自分の身体、声質を知る。	発声練習。	
2 .	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸トレーニングと発声練習。	
3 .	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を覚える。	
4 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。	
5 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。	
6 .	ソロのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。	
7 .	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
8 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
9 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
10 .	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。	
11 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
12 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
13 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
14 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。	
15 .	まとめ。	呼吸トレーニングと発声練習。	
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	授業内発表70% 受講態度30%		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	常時受け付ける。		

科 目	表現技法 D -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	講義内容の説明・オリエンテーション	シラパスを見ておく	
2 .	自己表現の基礎 (自己分析)	プロフィールの研究	
3 .	自己表現の基礎 (自己分析)	進路について考える	
4 .	進路の情報収集の仕方	現状を把握する	
5 .	進路の情報収集の仕方	求人情報の把握	
6 .	職種の知識習得	職種内容の把握	
7 .	職種の知識習得	職種内容の選定	
8 .	一般常識の研究	一般常識を研究しておく	
9 .	履歴書について	履歴書作成	
10 .	社会の仕組み (仕事への姿勢)	挨拶や連絡手段について	
11 .	社会の仕組み (仕事への事前準備等)	事前準備の重要性	
12 .	日程確認や時間厳守の重要性	社会のルールの理解	
13 .	パソコンについて	オフィス関係	
14 .	パソコンについて	図面作成ソフト	
15 .	前期のまとめ		
教科書	各講義の内容でテーマに沿ったテキストを配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート提出30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科 目	表現技法 D -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	前期の復習	シラパスを見ておく	
2 .	円滑に仕事を進める方法	事前準備の重要性	
3 .	円滑に仕事を進める方法	仕事中の心得	
4 .	円滑に仕事を進める方法	体調管理等	
5 .	パネルディスカッション	相互理解	
6 .	社会の仕組み (仕事への取り組み方)	信頼を得るための準備	
7 .	一般常識の研究	一般常識を研究しておく	
8 .	履歴書について	履歴書作成	
9 .	スピーチ	自己紹介を考える	
10 .	スピーチ	自己紹介の実践	
11 .	自己表現の再確認 (自己分析)	自己表現の応用	
12 .	自己表現の再確認 (自己分析)	自己表現の応用	
13 .	パソコンについて	オフィス関係	
14 .	パソコンについて	図面作成ソフト	
15 .	後期のまとめ		
教科書	各講義の内容でテーマに沿ったテキストを配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート提出30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科目	表現技法 F -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	川添幸一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	俳優・声優を目指す者には必須の「ナレーション」技術。正確な発音・滑舌・読解力をはじめ、「7つのポイント」アーティキュレーション、アクセント、イントネーション、フレージング、プロミネンス、ポーズ、リズムなど、音声表現の全てを網羅し、求められる音声表現者になるための基礎技術を学ぶ。 ナレーター歴29年のナレーター事務所代表が「求められる音声表現」習得へ導く。 その中でフリートークやレポート力が高い生徒には別途アドバイスし、新たな可能性を見いだす。		
到達目標	音声表現者に必要な知識・技術を学び、表現者としての技能を生かし、ナレーター、声優、レポーター、ラジオパーソナリティー等、メディアで求められる音声表現を身につける。 同時に就職面接など社会人に必須の大人の話し方が身につく。		
学習成果の評価基準	音声表現力の習得レベルを測るため、到達度確認録音テストを3回実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	講師紹介、ナレーションと台詞読みの違い指導。 生徒ナレーション参考録音 (各自レベル・課題把握のため)	1年次学んだ発音・発声・滑舌を復習し、当日渡される原稿を速やかに読解し録音できるよう備える	
2.	生徒ナレーション参考録音	自分のナレーションに不足しているものを検討。 他人のナレーションからも学ぶ	
3.	録音 結果から～全員録音後試聴・講評。各自課題解決への取り組み指導	自分の弱点・課題克服に必要な事は何かを検討しておく	
4.	日本語アクセント・無声化・鼻濁音・長音 指導～アクセント辞典	アクセント辞典を使いこなせるよう準備	
5.	日本語アクセント・無声化・鼻濁音・長音 指導～アクセント辞典	日本語アクセントの習得練習を反復する	
6.	正確な発音・滑舌の習得法指導	500ml空のペットボトル持参(飲後すぐか洗浄済み)必ずキャップを閉めておく。	
7.	正確な発音・滑舌の習得法指導	500ml空のペットボトル持参(飲後すぐか洗浄済み)必ずキャップを閉めておく。	
8.	【「はぁ？」っていうゲーム】を使ったイントネーション指導	心を開放し、想像力を働かせる準備をしておく。	
9.	【「はぁ？」っていうゲーム】を使ったイントネーション指導	心を開放し、想像力を働かせる準備をしておく。	
10.	生徒ナレーション録音	録音 で指摘された課題への取り組みが で発揮されるようにしておく	
11.	録音 結果から各自課題解決への取り組み指導	で指摘された課題への取り組みが で発揮されたか自分で考える	
12.	短編ナレーション録音指導A1	事前配布の録音課題を読解し練習しておく	
13.	短編ナレーション録音指導A2	で指摘された課題や、A読解の焦点が合っていたか再検討しておく	
14.	短編ナレーション録音A1.2～試聴・講評	A録音で得られた成長から各自で今後の練習を考える。	
15.	短編ナレーション録音～試聴・講評。前期振り返り・総括	A録音で得られた成長から各自で今後の練習を考える。半期総括	
教科書	なし。都度、資料配布		
参考書	「NHK日本語発音アクセント新辞典」 受講者は毎回必ず持参すること。 スマホ使用不可使用不可		
学習成果の評価方法	受講態度(20%)、録音テスト(50%)、到達度確認録音テスト(30%)を実施後、次回講義で指導します。		
特記すべき事項	講師経歴：声優・ナレーター歴24年、レポーター歴29年、司会者歴30年。 レポーター事務所【ECHO-S】代表・現役レポーター、ECHO-S主宰【福岡ECHO-Sアカデミー】校長 各授業につき30分の予復習を行うこと。		
質問・相談等の受付	学生の個別相談(上達方法、適正、進路など)も受け付けます。(演劇・放送の空き教室など使用) 要望が集まればゼミ開講も検討。		

科 目	表現技法 F -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	倉富顕子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、人とのコミュニケーションに欠かせないこの場の選び方・使い方・しゃべり方の他者の言葉を聞く力を磨き、表現力を身に付ける技法を学ぶ。		
到達目標	表現者として技能を身につけ、自らの課題を発見し取り組むことができる。また、日常生活においても他者の思いを受けとめ自らの感情や思考を伝えることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内での課題への積極的な取り組み（課題発表）や他者発表を聴く姿勢を「受講態度」の評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	自己紹介・基礎発声練習	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
2 .	発声、発音、滑舌練習	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
3 .	短い文章、原稿を読む	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
4 .	前回の「文章・原稿読み」で課題になったことに再びチャレンジ・チェックする	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
5 .	物語の一部を読む	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
6 .	前回の「物語の一部を読む」で課題になったことに再びチャレンジ・チェックする	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
7 .	クラスの学生同士でインタビューを行う	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
8 .	ニュース原稿を読む	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
9 .	前回の「ニュース原稿を読む」で課題になったことに再びチャレンジ・チェックする	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
10 .	愛読書や感銘を受けた書物・映画を紹介する	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
11 .	心に残る音楽、曲、好みのアーティストを紹介する	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
12 .	コマーシャル原稿を読む	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
13 .	前回の「コマーシャル原稿を読む」で課題になったことに再びチャレンジ・チェックする	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
14 .	物語の長文読みにチャレンジ	授業の振り返りを行い、次回授業の下調べを行う。	
15 .	学習成果を確認するため、初見の原稿を読む	授業の振り返りを行う。	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（50%）到達度確認のためナレーション原稿読みの発表（50%）		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。 ラジオレポーター歴15年、アナウンサー歴25年を有します		
質問・相談等 の受付	毎回の授業後、時間に支障なければ直接の相談を受ける		

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年7月公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	戯曲の本読み	戯曲の理解	
2.	戯曲の本読み	戯曲の理解	
3.	戯曲の本読み	戯曲の理解	
4.	戯曲の本読み	戯曲の理解	
5.	戯曲の本読み	演技プラン作成	
6.	戯曲の本読み	演技プラン作成	
7.	戯曲の本読み	演技プラン作成	
8.	戯曲の本読み	演技プラン作成	
9.	戯曲の本読み	演技プラン作成	
10.	戯曲の本読み	演技プラン作成	
11.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
12.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
13.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
14.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
15.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年7月公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
17.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
18.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
19.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
20.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
21.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
22.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認	
23.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
24.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
25.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
26.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
27.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
28.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
29.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認	
30.	まとめ	振り返り	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年7月公演に向けて、演技表現の稽古を積み重ね、自己表現力を高める。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	言葉を生み出す身体を土台にして、身体表現と音声表現の質を高めることを目標とする。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	テーブル稽古	戯曲の理解	
2.	テーブル稽古	戯曲の理解	
3.	テーブル稽古	戯曲の理解	
4.	テーブル稽古	戯曲の理解	
5.	テーブル稽古	演技プラン作成	
6.	テーブル稽古	演技プラン作成	
7.	テーブル稽古	演技プラン作成	
8.	テーブル稽古	演技プラン作成	
9.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
10.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
11.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
12.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
13.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
14.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
15.	立ち稽古	発声・ストレッチ ミザンス確認	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科 目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年7月公演に向けて、演技表現の稽古を積み重ね、自己表現力を高める		
到達目標	言葉を生み出す身体を土台にして、身体表現と音声表現の質を高めることを目標とする。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
17 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
18 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
19 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
20 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
21 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
22 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
23 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
24 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
25 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
26 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
27 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
28 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
29 .	抜き稽古・小返し	発声・ストレッチ ミザンス確認	
30 .	まとめ		
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年7月公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	小道具作成	プランチェック	
2 .	小道具作成	プランチェック	
3 .	小道具作成	プランチェック	
4 .	大道具作成	美術プラン確認	
5 .	大道具作成	美術プラン確認	
6 .	大道具作成	美術プラン確認	
7 .	広報宣伝	ツール確認	
8 .	広報宣伝	ツール確認	
9 .	広報宣伝	ツール確認	
10 .	衣装製作	衣装プラン確認	
11 .	衣装製作	衣装プラン確認	
12 .	衣装製作	衣装プラン確認	
13 .	劇場での仕込み	舞台図の確認	
14 .	劇場での仕込み	舞台図の確認	
15 .	劇場での仕込み	舞台図の確認	
教科書	上演台本・キューシート		
参考書	美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年7月公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。		
到達目標	身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	劇場での仕込み	舞台図の確認	
17.	明かり合わせ	照明プラン確認	
18.	明かり合わせ	照明プラン確認	
19.	明かり合わせ	照明プラン確認	
20.	音合わせ	音響プラン確認	
21.	音合わせ	音響プラン確認	
22.	音合わせ	音響プラン確認	
23.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
24.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
25.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
26.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
27.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
28.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
29.	通し稽古	香盤表・キューシート確認	
30.	まとめ	振り返り	
教科書	上演台本・キューシート		
参考書	美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて、集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	戯曲の本読み	戯曲の理解	
2 .	戯曲の本読み	戯曲の理解	
3 .	戯曲の本読み	戯曲の理解	
4 .	戯曲の本読み	演技プラン作成	
5 .	戯曲の本読み	演技プラン作成	
6 .	戯曲の本読み	演技プラン作成	
7 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
8 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
9 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
10 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
11 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
12 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
13 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
14 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
15 .	歌唱稽古	発声・譜読み	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	振り稽古	発声・ウォーミングアップ	
17 .	振り稽古	発声・ウォーミングアップ	
18 .	振り稽古	発声・ウォーミングアップ	
19 .	振り稽古	発声・ウォーミングアップ	
20 .	振り稽古	発声・ウォーミングアップ	
21 .	振り稽古	発声・ウォーミングアップ	
22 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
23 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
24 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
25 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
26 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
27 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
28 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
29 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
30 .	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	テーブル稽古	下読み・時代背景を調べる	
2 .	テーブル稽古	下読み・役の人物の履歴書を書く	
3 .	テーブル稽古	役作り・相手役の関係性を考える	
4 .	テーブル稽古	役作り・脚本上の役割を考える	
5 .	テーブル稽古	役作り・感情を作る	
6 .	立ち稽古	ミザンス確認・体の中心軸を意識	
7 .	立ち稽古	ミザンス確認・相手との距離感を掴む	
8 .	立ち稽古	ミザンス確認・感情と声のバランスを考える	
9 .	立ち稽古	ミザンス確認・感情と声のバランスを考える	
10 .	立ち稽古	ミザンス確認・舞台の所作を研究する	
11 .	立ち稽古	ミザンス確認・舞台の所作を研究する	
12 .	立ち稽古	ミザンス確認・感情と形式と肉体の関係性をノートする	
13 .	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える	
14 .	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える	
15 .	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演し、演出する。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16 .	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する	
17 .	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する	
18 .	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する	
19 .	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する	
20 .	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する	
21 .	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する	
22 .	小返し	ノート確認・修正	
23 .	小返し	ノート確認・修正	
24 .	小返し	ノート確認・修正	
25 .	小返し	ノート確認・修正	
26 .	小返し	ノート確認・修正	
27 .	小返し	ノート確認・修正	
28 .	小返し	ノート確認・修正	
29 .	小返し	ノート確認・修正	
30 .	まとめ	振り返り	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演し、演出する。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
2 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
3 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
4 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
5 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
6 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
7 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
8 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
9 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
10 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
11 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
12 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
13 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
14 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
15 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
17 .	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
18 .	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
19 .	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
20 .	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
21 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
22 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
23 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
24 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
25 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
26 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
27 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
28 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
29 .	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古	
30 .	まとめ	振り返り	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演劇・ミュージカルの作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、振付・作曲・照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台創作における表現者の総合的な学びです。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	二年間の集大成である卒業公演を通して自主性と協調性を兼ね備えた豊かなコミュニケーション能力の獲得を目標とする。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価する。 計画を立て安全に作業を行うことができる。 仲間とコミュニケーションを取り段取り良く作業を進めることができる。 準備、確認を怠らず与えられた仕事を遂行出来る。 時間を厳守し、仲間への感謝を述べる事が出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)		授業時間外学習 予習・復習
1 .	舞台仕込み 大道具搬入・リノリウム		仕込み図を見ておく
2 .	舞台仕込み セット仕込み・吊りモノ仕込み		安全確認
3 .	舞台仕込み 安全確認		安全確認
4 .	照明仕込み		仕込み図を確認する
5 .	照明シュート・明かり作り		仕込み図を確認する
6 .	照明シュート・明かり作り		仕込み図を確認する
7 .	照明合わせ		キューシートを見ておく
8 .	照明合わせ		キューシートを見ておく
9 .	音響仕込み		仕込み図を見ておく
10 .	音響チェック SE/MEチェック ワイヤレスマイクチェック		キューシートを見ておく
11 .	音響チェック バンド・サウンドチェック		キューシートを見ておく
12 .	場当たり 立ち位置の確認・きっかけの確認		台本・キューシート確認
13 .	場当たり		台本・キューシート確認
14 .	場当たり		台本・キューシート確認
15 .	場当たり		台本・キューシート確認
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京にて俳優、演出家として数多くの作品に出演し、演出する。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演劇・ミュージカルの作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、振付・作曲・照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台創作における表現者の総合的な学びです。		
到達目標	演劇公演を通して自主性と協調性を兼ね備えた豊かなコミュニケーション能力の獲得を目標とする。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価する。 計画を立て安全に作業を行うことができる。 仲間とコミュニケーションを取り段取り良く作業を進めることができる。 準備、確認を怠らず与えられた仕事を遂行出来る。 時間を厳守し、仲間への感謝を述べる事が出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16 .	場当たり (5)	台本・キューシートを確認	
17 .	場当たり (6)	台本・キューシートを確認	
18 .	通し稽古A	衣裳・小道具確認	
19 .	通し稽古B	衣裳・小道具確認	
20 .	通し稽古C	衣裳・小道具確認	
21 .	通し稽古D	衣裳・小道具確認	
22 .	ゲネプロA	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
23 .	ゲネプロB	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
24 .	ゲネプロC	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
25 .	ゲネプロD	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
26 .	本番A	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
27 .	本番B	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
28 .	本番C	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
29 .	本番D	ステージチェック・照明チェック・音響チェック・プリセット確認	
30 .	まとめ		
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京にて俳優、演出家として数多くの作品に出演し、演出する。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	定期公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の成長に繋げる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する		
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかわりの中での自己表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	公演概要の説明	配布プリントを読んでおく	
2.	キャストオーディション	配布プリントを読んでおく	
3.	本読み	台本を読んでおく	
4.	本読み	台本を読んでおく	
5.	本読み	台本を読んでおく	
6.	立ち稽古	台本を読んでおく	
7.	立ち稽古	台詞を覚える	
8.	立ち稽古	台詞を覚える	
9.	立ち稽古	台詞を覚える	
10.	立ち稽古	台詞を覚える	
11.	立ち稽古	台詞を覚える	
12.	立ち稽古	台詞を覚える	
13.	立ち稽古	前回の復習	
14.	立ち稽古	前回の復習	
15.	立ち稽古	前回の復習	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度60%、成果発表40%(各稽古・本番後にフィードバックを行う)		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科 目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	定期公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の成長に繋げる。		
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかかわりの中での自己表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	衣装合わせ	衣装の用意	
17 .	立ち稽古	前回の復習	
18 .	立ち稽古	前回の復習	
19 .	立ち稽古	前回の復習	
20 .	立ち稽古	前回の復習	
21 .	立ち稽古	前回の復習	
22 .	衣装合わせ	衣裳の確認	
23 .	通し稽古	香盤表の確認	
24 .	通し稽古	香盤表の確認	
25 .	ゲネプロ	香盤表の確認	
26 .	ゲネプロ	香盤表の確認	
27 .	公演本番	香盤表の確認	
28 .	公演本番	香盤表の確認	
29 .	振り返り	本番の振り返り	
30 .	まとめ	本番の振り返り	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法			
特記すべき 事項			
質問・相談等 の 受 付			

科 目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する		
到達目標	作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として点検評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習	
2 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習	
3 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習	
4 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習	
5 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習	
6 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習	
7 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習	
8 .	歌唱稽古	発声 復習	
9 .	歌唱稽古	発声 復習	
10 .	歌唱稽古	発声 復習	
11 .	歌唱稽古	発声 復習	
12 .	歌唱稽古	発声 復習	
13 .	歌唱稽古	発声 復習	
14 .	歌唱稽古	発声 復習	
15 .	歌唱稽古	発声 復習	
教科書	上演台本 スコア		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 公演目標達成度 (60%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品を演出、出演する。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等 の受付	随時受付		

科 目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。		
到達目標	作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
16 .	歌唱稽古	発声・楽曲の復習	
17 .	ダンス稽古	ストレッチ 予習	
18 .	ダンス稽古	ストレッチ 予習	
19 .	ダンス稽古	ストレッチ 予習	
20 .	ダンス稽古	ストレッチ 予習	
21 .	ダンス稽古	ストレッチ 予習	
22 .	ダンス稽古	ストレッチ 予習	
23 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
24 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
25 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
26 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
27 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
28 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
29 .	歌唱とダンス稽古	ノート確認	
30 .	まとめ	達成度の振り返り	
教科書	上演台本 スコア		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 公演目標達成度(60%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品を演出、出演する。		
質問・相談等 の 受 付	随時受付		